

# I 令和3年度予算案の全体像

# 令和3年度厚生労働省予算案の全体像

(単位：億円)

区分	令和2年度 予算額 (A)	令和3年度 予算案 (B)	増△減額 (C) (B-A)	増△減率 (C/A)
一般会計	329,861	331,380	1,519	0.5%
社会保障関係費	326,319	327,928	1,609 <small>実質的な伸び 3,500億円程度 (注3参照)</small>	0.5%
その他の経費	3,542	3,452	△90	△2.5%
労働保険特別会計	40,072	49,202	9,130	22.8%
年金特別会計	702,899	712,855	9,956	1.4%
東日本大震災復興 特別会計	170	135	△36	△20.9%

[計数整理の結果、異動を生ずることがある。]

(注1) 令和2年度予算額は当初予算額。

(注2) 令和2年度予算額は臨時・特別の措置を除く(505億円)。

(注3) 政府全体の社会保障関係費の実質的な伸びは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた足元の医療費動向を踏まえ医療費にかかる国庫負担分を▲2,000億円程度減少させたベースと比較すると、3,500億円程度となる。

(注4) 各特別会計の額は、それぞれの勘定の歳出額の合計額から他会計・他勘定への繰入分を除いた純計額である。

(注5) 年金特別会計の額は、内閣府と共管の子ども・子育て支援勘定を含む。

(注6) 計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と合致しないものがある。

## 令和3年度厚生労働省予算案（一般会計） 社会保障関係費の内訳のイメージ

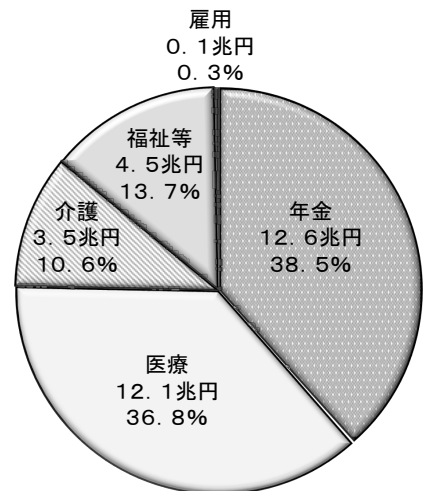
【令和2年度予算額と令和3年度予算案の社会保障関係費の比較】

(単位：億円)

区分	令和2年度 予算額 (A)	令和3年度 予算案 (B)	増△減額 (C) (B-A)	増△減率 (C/A)
社会保障 関係費	326,319	327,928	1,609 <small>実質的な伸び 3,500億円程度 (注4参照)</small>	0.5%
年金	124,615	126,213	1,598	1.3%
医療	122,674	120,799	△1,875 <small>(注4参照)</small>	△1.5%
介護	34,038	34,862	824	2.4%
福祉等	44,512	44,976	464	1.0%
雇用	480	1,078	598	125%

[計数整理の結果、異動を生ずることがある。]

【令和3年度予算案の社会保障関係費の内訳】



(注1) 令和2年度予算額は当初予算額。

(注2) 令和2年度予算額は臨時・特別の措置を除く(社会保障関係費487億円、福祉等487億円)。

(注3) 政府全体の社会保障関係費の増△減額は1,507億円。

(注4) 政府全体の社会保障関係費の実質的な伸びは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた足元の医療費動向を踏まえ医療費にかかる国庫負担分を▲2,000億円程度減少させたベースと比較すると、3,500億円程度となる。

(注5) 計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と合致しないものがある。